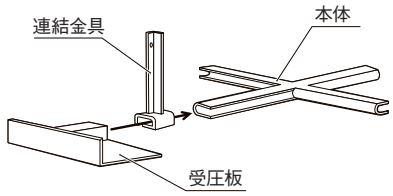
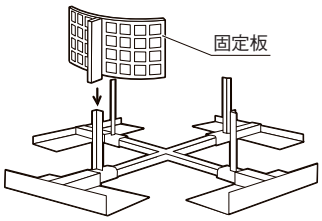
ジュポールベース(JB) 施工手順

JB-0. 1

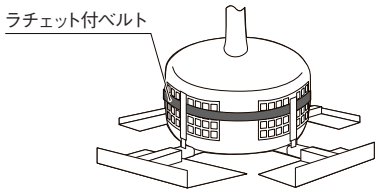
1 本体に連結金具を通し、受圧板を差込む。



2 根鉢の高さに合わせ、連結金具に固定板を差込む。



3 樹木を自立させる。連結金具をスライドさせ根鉢にフィットさせる。周囲をラチェット付ベルトで締込み、施工完了。



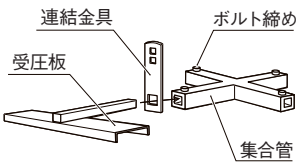
増し締めのお願い ※増し締め用のスペースを確保してください ※目安時期 ページ下部参照

根鉢側面を締め込んだラチェット付ベルトのラチェットの位置をGLレベルに記してください。増し締めの際はその部分を掘り、ラチェットがそれ以上締まらなくなるまで締めてください。

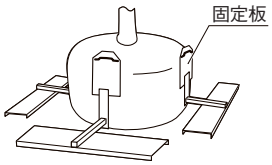
JB-2用 施工動画

JB-2. 3. 4 ※イラストはJB-2の場合です。 ※JB-4の固定板形状及び取付方法は、JB-5.6.7と同様となります。

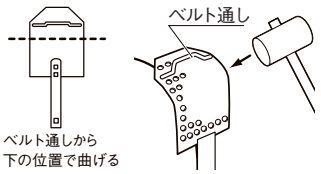
1 受圧板に連結金具を差込み、集合管に挿入する。受圧板はボルト締めにて固定する。



2 1の上に樹木を自立させる。根鉢の高さに合わせて固定板を調整する。固定板の半分が根鉢の肩より上部にくるように取付ける。

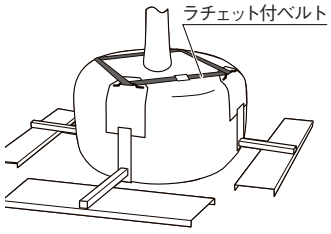


3 根鉢の肩にフィットさせ、ハンマーで固定板の面を根鉢との隙間がなくなるまで叩いて根鉢になじませる。



⚠ **ベルト通しは絶対に叩かないこと。**

4 固定板にラチェット付ベルトを通し、根鉢を締込み、施工完了。



使用する工具

レンチ(ソケットサイズ17㎜)、プラスチックハンマー

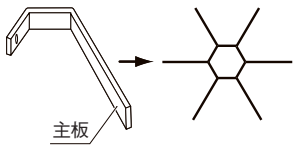
増し締めのお願い ※増し締め用のスペースを確保してください ※目安時期 ページ下部参照

根鉢上にラチェット付ベルトがあるため、その部分の土もしくは植物を移動し、ラチェットがそれ以上締まらなくなるまで、増し締めしてください。本施工の時にラチェットの巻きしろを少なくするため、余分なベルトは切ってから締めてください。

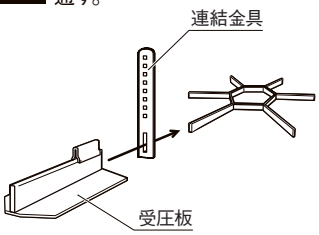
JB-5用 施工動画

JB-5. 6. 7 ※イラストはJB-6の場合です。

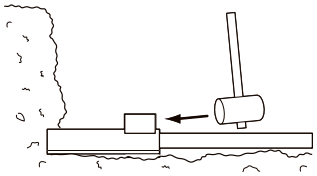
1 主板を組立てる。



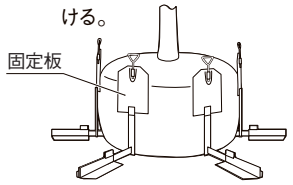
2 主板に連結金具と受圧板を通す。



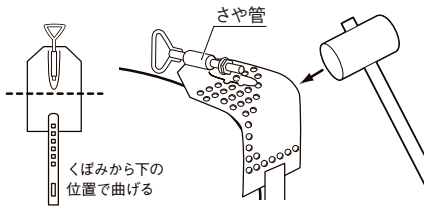
3 受圧板を側壁へ打込む。



4 3の上に樹木を自立させる。根鉢の高さに合わせて固定板を調整する。固定板の半分(フックボルト)が根鉢の肩より上部にくるように取付ける。

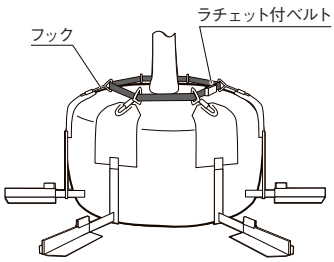


5 根鉢の肩にフィットさせ、ハンマーで固定板の面を根鉢との隙間がなくなるまで叩いて根鉢になじませる。

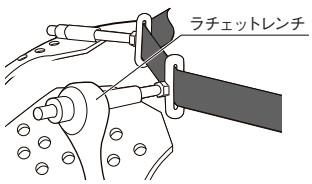


⚠ **さや管は絶対に叩かないこと。**

6 ラチェット付ベルトをフックに通し、ベルトを締込む。

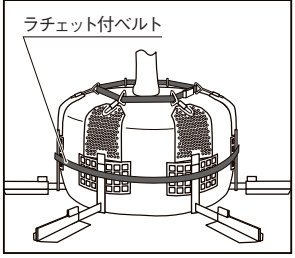


7 ベルトが動かなくなるまで、フックのナットをラチェットレンチで徐々に締込み、施工完了。



⚠ **一か所のフックを締め込みすぎると破損する恐れがあります。**

根鉢押えメッシュ付は、メッシュ上にラチェット付ベルトを巻いて締込む。



使用する工具

レンチ(ソケットサイズ17㎜、19㎜)、プラスチックハンマー、大ハンマー

増し締めのお願い ※増し締め用のスペースを確保してください ※目安時期 ページ下部参照

根鉢上に7のような増し締め用のナットがついています。このナットを出し、ラチェットレンチで増し締めしてください。このナットの巻きしろが無くなったときは、6ラチェット付ベルトを外しナットの巻きしろを戻してから再度ベルトを締めて固定し、それ以上締まらなくなるまで増し締めしてください。

【増し締めの時期と回数】 弊社では増し締めの回数を以下の目安で推奨していますが、嵐や台風などの影響で隙間が発生した場合、適宜行っていく必要があります。

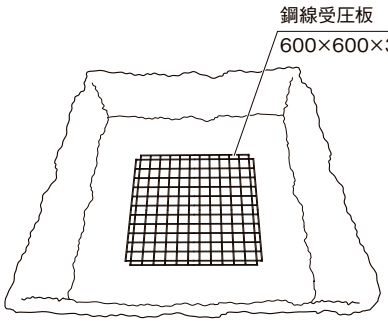
施工者が行う増し締め●水極め終了後、水が完全に引いてから(半日～1日経過後)※雨天時は翌日●お引渡し前 **管理者**が行う増し締め●台風シーズン前(7月頃)●台風シーズン後(9月末頃)

※製品改良のため仕様その他を予告なく変更する場合があります。※本製品は本来の目的以外には使用しないでください。

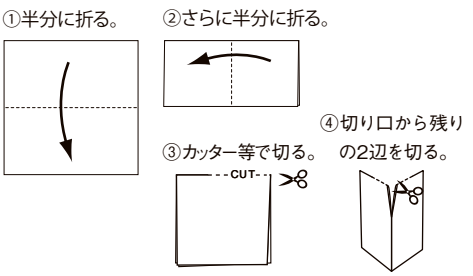
2024.06.25-05

JB-M　施工手順

1
1m×1m×根鉢の高さの穴を掘削し、鋼線受圧板を穴底に設置する。

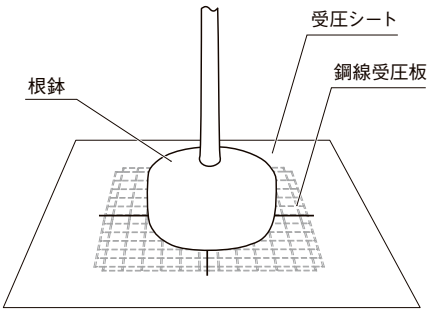


2
1m×1mの受圧シートを折り畳み、中心に十字の切れ込みを入れる。

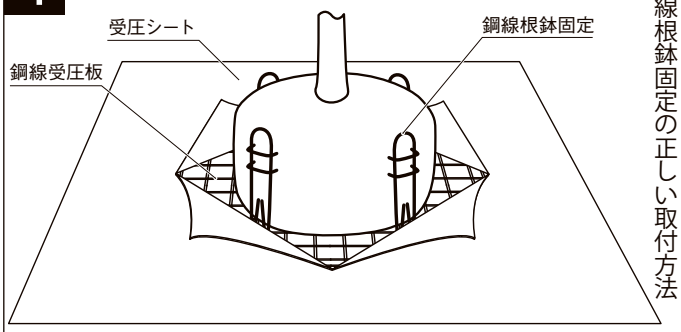


⚠ **切れ込みを入れる際は、端から余白を約20cm残してください。**

3
鋼線受圧板の上に受圧シートを敷設し、その上に樹木を設置し、樹木を自立させる。

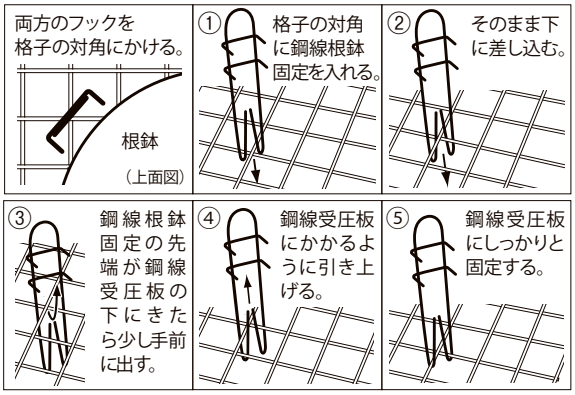


4
受圧シートをめくり、鋼線根鉢固定を鋼線受圧板に設置する。

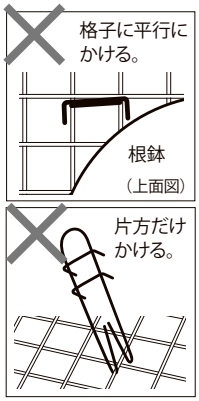


⚠ **鋼線根鉢固定の取付け間隔は、なるべく均等にしてください。**

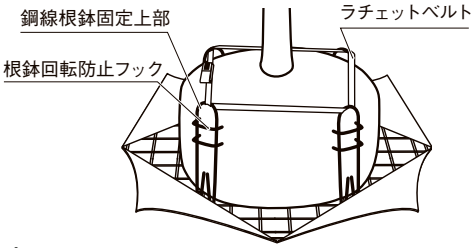
鋼線根鉢固定の正しい取付方法



鋼線根鉢固定の誤った取付方法

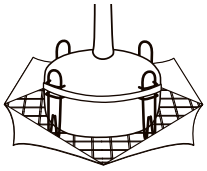


5
鋼線根鉢固定上部にラチェットベルトを通し締めこむ。

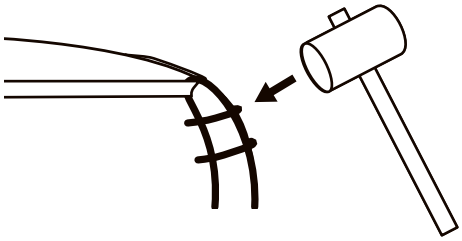


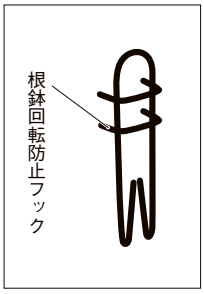
⚠ **ラチェットベルトを通す際は必ず鋼線根鉢固定上部に通してください。根鉢回転防止フックにかけないでください。**

⚠ **根鉢径がφ200以下の場合は根鉢側面にラチェットベルトを締めこんでください。**

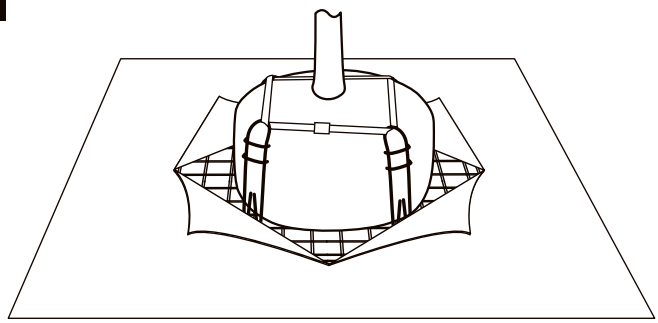


6
ラチェットベルトを締めこむ際に根鉢回転防止フックをプラスチックハンマーで叩き、根鉢に食い込ませる。

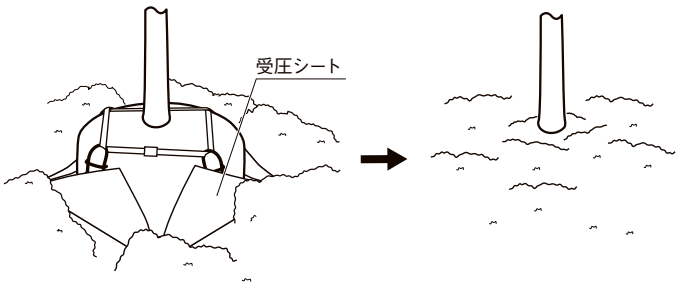




7
根鉢回転防止フックが根鉢に食い込むまでラチェットベルトを締める。



8
受圧シートがめくりあがらないように土壌を埋め戻し、施工完了。



使用する工具
カッター
プラスチックハンマー

増し締めのお願い　※増し締め用のスペースを確保してください　※目安時期 ページ下部参照
根鉢上にラチェット付ベルトがあるため、その部分の土もしくは植物を移動し、ラチェットがそれ以上締まらなくなるまで、増し締めしてください。
本施工の時にラチェットの巻きしろを少なくするため、余分なベルトは切ってから締めてください。

【増し締めの時期と回数】　弊社では増し締めの回数を以下の目安で推奨していますが、嵐や台風などの影響で隙間が発生した場合、適宜行っていく必要があります。
施工者が行う増し締め●水極め終了後、水が完全に引いてから（半日～1日経過後）※雨天時は翌日●お引渡し前　**管理者**が行う増し締め●台風シーズン前（7月頃）●台風シーズン後（9月末頃）

※製品改良のため仕様その他を予告なく変更する場合があります。※本製品は本来の目的以外には使用しないでください。

2024.06.25-05